

令和7年度 第5回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月3日（火）10時～12時まで
- 2 開催場所 大平台小学校 会議室
- 3 出席委員 井嶋 吉廣、齋藤 良夫、シム キュマン、山内 あけみ、幅 あけみ
今井 孝、伊藤 真弓
- 4 欠席委員 内藤 明子、白井 俊早、稲葉 大輔
- 5 学校支援コーディネーター 今明 真理
- 6 学 校 安藤 靖之（校長）、大澤 真一郎（教頭）、遠藤 芳枝（教務主任）
- 7 傍 聴 人 なし
- 8 会議録記録者 CSディレクター 尾白 栄子
- 9 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、伊藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを了承した。

10 協議事項

- （1） 来年度の学校運営方針について
- （2） 学校運営協議会自己評価について

11 会議記録

大澤教頭から委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の発言があった。

（1） 来年度の学校運営方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、来年度の学校運営基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・先生の業務として子供を教育すること以外の負担が大きいと思う。ブラジルやペルーでは先生は教えるだけで、教育以外の業務をするスタッフがいる。 …シム委員
- ・今まで教員が床のワックスがけをしていたが、業者に委託できることはアウトソーシングして、子供と向き合う時間を増やす検討をしている。 …安藤校長
- ・ボランティア活動に関わって、以前と比べて働いているお母さんが多く、正社員として働くお母さんが増えている現状があると感じた。ボランティアの募集について、一時的なものではなく、今後も継続的に活動に参加してくれるように学校や学校支援コーディネーターと相談したい。シニアクラブ、自治会、地域の方とどこまで声をかけていいのか相談したい。 …伊藤委員
- ・一部の人にだけ大きな負担とならないように持続可能なものとなるのが望ましい。保護者だけではなく、地域の方が子供たちと関わるのが楽しい時間となることを紹介、発信したい。 …安藤校長
- ・入野地区の入野小と西都台小は、昔から住んでいる人が多く、地域連携が強いが、大平台は、他地区から引っ越してきた住人が多いため、ボランティアの募集が難しい。 …幅委員
- ・今後、生活・学習・屋上庭園の3つのボランティアに所属している人たちをまとめて、情報の発信や、やりとりできるような仕組みを作る計画をしている。今は保護者だけだが、地域の方にも

- 参加を促したい。今明さんと「わかば応援団」の土台作りをしている。 …伊藤委員
 - ・学校教育目標について、とても具体的になったと思う。 …伊藤委員
 - ・昨年と比べてよりわかりやすく、内容が把握できた。子供に考える力をつける教育が行われてほしい。 …シム委員
 - ・具体的に提示され、わかりやすくなっている。やることが明確になり、「わかば」の言葉につなげた教育目標が、先生の言葉を通して浸透していくと思う。 …幅委員
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校運営協議会自己評価について

- ・評価項目1について
 - ア よくできた
- ・評価項目2について
 - ア よくできた 熟議を進め、ボランティア活動がより活発に進んだ。
- ・評価項目3について
 - イ 行った さくら連絡網でCS通信を配信した。
- ・評価項目4について
 - 今年度は、協議会でボランティア活動が持続可能なものとなるよう、再確認した。今後も協議したことを活動に報告して、反映し、更に深めていきたい。

12 報告

- 夢育やらまいか事業（CS加算分）について大澤教頭より、以下の報告があった。

夢育やらまいか事業に対する意見書に基づき、計画通りに使用した。また、ボランティアの謝礼としてお茶やタブレットのイヤフォン、屋上庭園のホースやスプリンクラー、雑草用シート等購入した。
- 生活ボランティアについて伊藤委員より、以下の報告があった。

ボランティア活動が始まってから、1年が経ち、子供たちに顔を覚えてもらえるようになり、子供たちから「来てくれてありがとう」と感謝の言葉を言われるようになった。授業の前に先生との打ち合わせがないことも多く、ボランティアさんの中では、先生からボランティアの支援内容を教えてもらってから、クラスに入りたいという意見がある。1人の生徒につききりの世話や見守りになることもあり、臨機応変に対応できる人もいれば、そうでない場合もある。休み時間の見守りについて、危険な行動をする子供への声掛けや、やめさせる対応の仕方がわからないといった意見もあった。
- 学習ボランティアについて、今明学校支援コーディネーターより、以下の報告があった。

今年度でボランティアをやめる方が1人いて、今後もボランティアの参加を募りたい。1年生が6名いて、宿題をすることにも慣れてきて、来年度以降も引き続き活動していきたい。
- 屋上庭園ボランティアについて、大澤教頭より、以下の報告があった。

12月にチューリップの球根を植えた。まだ芽は出ていないが、今後も荻学校支援コーディネーターと調整しながら進めていきたい。

13 連絡事項

- ・卒業式と入学式の出欠席と来年度からのCS委員について大澤教頭より説明があった。